



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月24日

上場会社名 株式会社バルカー 上場取引所 東
 コード番号 7995 URL http://www.valqua.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧澤 利一
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 遠藤 浩志郎 TEL 03-5434-7372
 四半期報告書提出予定日 2018年10月24日 配当支払開始予定日 2018年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	26,084	12.1	3,207	17.1	3,347	20.0	2,354	24.0
2018年3月期第2四半期	23,278	10.2	2,739	44.1	2,789	65.5	1,899	121.4

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 1,648百万円 (△8.3%) 2018年3月期第2四半期 1,798百万円 (320.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	133.78	—
2018年3月期第2四半期	107.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	50,834	34,862	65.6
2018年3月期	50,600	34,592	65.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 33,326百万円 2018年3月期 33,037百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用したため、2018年3月期につきましては遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	40.00	—	45.00	85.00
2019年3月期	—	45.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	50.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,500	6.1	6,000	11.6	6,000	9.8	4,200	9.6	238.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	18,688,733株	2018年3月期	18,688,733株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,116,846株	2018年3月期	1,025,866株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	17,596,189株	2018年3月期2Q	17,664,520株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第2四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 受注の状況	9
(2) 海外売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の生産活動と個人消費がともに緩やかな回復を続けるなど、概ね堅調に推移しました。また、海外経済においては、米国景気はGDPが示すように引き続き拡大し、新興国においても比較的安定的な推移を示しました。しかしながら、今後に向けては日米間や米中間の通商問題、原材料価格、地政学的問題などが要因として存在することに加え、半導体に関連する設備投資の減速が懸念されるなど、日本企業においては先行きへの警戒感が増す状況となりました。

このような事業環境下において当社グループは、当期から開始した第8次中期経営計画「New Valqua Stage Eight」（NV・S8）で掲げた経営目標の達成に向けて、成長市場における収益の拡大と“選択と集中”による収益性の向上を図り、加えて“健全で持続的な成長”を実現するための企業基盤の整備・強化を推進しました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高が260億8千4百万円（前年同期比12.1%増）、営業利益が32億7百万円（同17.1%増）、経常利益が33億4千7百万円（同20.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が23億5千4百万円（同24.0%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① シール製品事業

シール製品事業につきましては、先端産業市場に向けた売上に軸に拡大したことに加え、機器市場並びにプラント市場への販売も伸長し、売上高は171億3千3百万円（前年同期比8.2%増）、セグメント利益は26億2千2百万円（同8.6%増）となりました。

② 機能樹脂製品事業

機能樹脂製品事業につきましては、先端産業市場に向けた売上がサプライチェーンの整備の効果により拡大したことに加え、機器市場への販売の拡大も堅調に推移し、売上高は72億7千9百万円（前年同期比20.2%増）、セグメント利益は4億1千4百万円（同123.2%増）となりました。

③ その他事業

その他事業につきましては、シリコンウエハーリサイクル事業の拡大により、売上高は16億7千万円（前年同期比19.8%増）、セグメント利益は1億7千万円（同22.9%増）となりました。

なお、当社は2018年10月1日に株式会社バルカーに社名を変更いたしました。

本社名変更には、当社の基本理念である“価値の創造と品質の向上”に向けて、“海外事業のさらなる拡大・社員のダイバーシティ化”と“H&S企業への脱皮”を推し進める強い意志を込めております。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期（連結）会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末（前事業年度末）の数値で比較を行っております。

当第2四半期連結会計期間末における総資産は508億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3千3百万円増加いたしました。流動資産は272億5千4百万円となり、3億1千1百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加6億9千9百万円、電子記録債権の増加4億2千8百万円、仕掛品の増加1億8千5百万円、流動資産のその他に含まれる未収入金の増加1億3千2百万円、現金及び預金の減少11億7千1百万円等であります。固定資産は235億6千9百万円となり、7千3百万円減少いたしました。主な要因は、のれんの減少6千4百万円等であります。

負債は、159億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ3千6百万円減少いたしました。流動負債は117億円となり、1億4百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加4億4千万円、短期借入金の減少1億8千2百万円、流動負債のその他に含まれる未払金の減少1億7千3百万円等であります。固定負債は42億7千1百万円となり、1億4千1百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金の減少5千8百万円、退職給付に係る負債の減少4千万円等であります。

純資産は348億6千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億6千9百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加15億5千8百万円、為替換算調整勘定の減少4億5千5百万円、その他有価証券評価差額の減少3億9百万円、自己株式の増加3億2百万円、資本剰余金の減少2億3千万円等であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の65.3%から65.6%となり、0.3ポイント増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期におけるわが国経済は、企業業績の改善や個人消費の回復などにより、景気拡大の基調が持続することが期待されます。しかしながら、企業の先行きに対する見方は徐々に悪化しており、必ずしも堅調な推移を示すとは言えない状況にあります。一方、グローバルな観点においても、米国や中国を巡る通商問題、各地の地政学的問題等が不透明な要素として存在しております。

このような事業環境が想定される中、当社グループは“NV・S8”で策定した事業戦略を速やかに推進するとともに、企業基盤の整備を着実に実行し、“健全で持続的な成長”の実現を図ってまいります。

以上を踏まえまして、当連結会計年度における売上高は505億円（前年同期比6.1%増）、営業利益は60億円（同11.6%増）、経常利益は60億円（同9.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は42億円（同9.6%増）を予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,514	5,343
受取手形及び売掛金	11,738	12,437
電子記録債権	2,062	2,491
商品及び製品	2,685	2,594
仕掛品	485	670
原材料及び貯蔵品	1,292	1,347
その他	2,192	2,396
貸倒引当金	△27	△26
流動資産合計	26,943	27,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,923	4,903
土地	4,005	4,003
その他（純額）	4,697	4,740
有形固定資産合計	13,626	13,647
無形固定資産		
のれん	463	398
その他	542	542
無形固定資産合計	1,005	941
投資その他の資産		
投資有価証券	6,610	6,175
その他	2,429	2,833
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	9,011	8,981
固定資産合計	23,643	23,569
繰延資産	14	9
資産合計	50,600	50,834

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,950	6,390
短期借入金	1,964	1,782
1年内返済予定の長期借入金	179	183
1年内償還予定の社債	160	75
未払法人税等	525	495
賞与引当金	473	527
役員賞与引当金	80	47
その他	2,261	2,197
流動負債合計	11,595	11,700
固定負債		
社債	1,700	1,700
長期借入金	255	197
退職給付に係る負債	736	695
その他	1,721	1,678
固定負債合計	4,413	4,271
負債合計	16,008	15,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,957	13,957
資本剰余金	4,169	3,938
利益剰余金	12,899	14,458
自己株式	△1,382	△1,684
株主資本合計	29,643	30,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,085	2,775
為替換算調整勘定	497	42
退職給付に係る調整累計額	△189	△161
その他の包括利益累計額合計	3,394	2,657
非支配株主持分	1,554	1,535
純資産合計	34,592	34,862
負債純資産合計	50,600	50,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	23,278	26,084
売上原価	14,635	16,199
売上総利益	8,643	9,884
販売費及び一般管理費	5,904	6,677
営業利益	2,739	3,207
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	44	43
設備賃貸料	63	70
持分法による投資利益	23	25
為替差益	10	37
匿名組合投資利益	3	51
その他	43	33
営業外収益合計	190	264
営業外費用		
支払利息	30	29
設備賃貸費用	83	67
その他	26	27
営業外費用合計	141	124
経常利益	2,789	3,347
特別利益		
固定資産売却益	14	1
特別利益合計	14	1
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産廃棄損	3	35
減損損失	59	—
石綿疾病補償金	15	10
その他	—	8
特別損失合計	77	54
税金等調整前四半期純利益	2,726	3,294
法人税、住民税及び事業税	580	779
法人税等調整額	185	107
法人税等合計	766	886
四半期純利益	1,959	2,408
非支配株主に帰属する四半期純利益	60	54
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,899	2,354

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	1,959	2,408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△89	△309
為替換算調整勘定	△90	△473
退職給付に係る調整額	19	29
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△5
その他の包括利益合計	△161	△759
四半期包括利益	1,798	1,648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,745	1,617
非支配株主に係る四半期包括利益	52	31

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,726	3,294
減価償却費	743	837
減損損失	59	—
受取利息及び受取配当金	△46	△45
支払利息	30	29
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△91	△201
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△93	△23
固定資産廃棄損	3	35
固定資産売却損益 (△は益)	△14	△1
売上債権の増減額 (△は増加)	△955	△1,127
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△505	△229
仕入債務の増減額 (△は減少)	50	476
その他	△24	28
小計	1,882	3,074
利息及び配当金の受取額	56	66
利息の支払額	△30	△26
法人税等の還付額	147	1
法人税等の支払額	△811	△905
特別退職金の支払額	△1	—
石綿疾病補償金の支払額	△10	△10
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,232	2,200
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△867	△1,179
有形固定資産の売却による収入	676	5
無形固定資産の取得による支出	△48	△66
出資金の払込による支出	—	△184
出資金の回収による収入	11	21
差入保証金の差入による支出	△44	△31
差入保証金の回収による収入	11	8
その他	△76	△129
投資活動によるキャッシュ・フロー	△337	△1,555
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,107	653
短期借入金の返済による支出	△1,589	△829
長期借入れによる収入	—	34
長期借入金の返済による支出	△102	△76
社債の償還による支出	△85	△85
自己株式の取得による支出	△2	△302
配当金の支払額	△792	△793
非支配株主への配当金の支払額	△50	△25
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△52	△261
その他	△12	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,580	△1,702
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23	△110
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△708	△1,168
現金及び現金同等物の期首残高	6,181	6,439
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,473	5,271

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2018年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式90,300株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が299百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が1,684百万円となっております。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間（自2017年4月1日 至2017年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	シール 製品事業	機能樹脂 製品事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	15,830	6,054	1,394	23,278	—	23,278
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,830	6,054	1,394	23,278	—	23,278
セグメント利益	2,415	185	138	2,739	—	2,739

（注）セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と同額となっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

（固定資産に係る重要な減損損失）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額	合計額
	シール 製品事業	機能樹脂 製品事業	その他 事業			
減損損失	59	—	—	59	—	59

II. 当第2四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	シール 製品事業	機能樹脂 製品事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	17,133	7,279	1,670	26,084	—	26,084
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	17,133	7,279	1,670	26,084	—	26,084
セグメント利益	2,622	414	170	3,207	—	3,207

（注）セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と同額となっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 受注の状況

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高			受注残高		
	前第2四半期 連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	増減率(%)	前第2四半期 連結会計期間末 (2017年9月30日)	当第2四半期 連結会計期間末 (2018年9月30日)	増減率(%)
シール製品事業	16,014	17,348	8.3	3,252	3,955	21.6
機能樹脂製品事業	6,371	7,937	24.6	1,611	2,719	68.7
その他事業	1,323	1,796	35.7	188	263	39.8
合計	23,709	27,082	14.2	5,052	6,938	37.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	4,589	1,624	85	6,299
II 連結売上高(百万円)				23,278
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.7	7.0	0.4	27.1

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は、次のとおりであります。

(1) アジア 中国・台湾・タイ・シンガポール・韓国・ベトナム

(2) 北米 アメリカ合衆国

(3) その他の地域 ヨーロッパ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本国以外の国又は地域に対する売上高であります。

当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	4,817	2,382	78	7,278
II 連結売上高(百万円)				26,084
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	18.5	9.1	0.3	27.9

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は、次のとおりであります。

(1) アジア 中国・台湾・タイ・シンガポール・韓国・ベトナム

(2) 北米 アメリカ合衆国

(3) その他の地域 ヨーロッパ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本国以外の国又は地域に対する売上高であります。